

令和3年2月10日

報道機関各位

吉川市政策室主幹

東京 2020 パラリンピック競技大会への出場を予定するマカオの選手との オンライン交流会を開催しました

東京 2020 パラリンピック競技大会（以下、「東京大会」）におけるホストタウンの相手地域となったマカオのパラスポーツ選手や関係者と市民による、オンライン交流会を開催しました。

当日は、マカオの選手から来歴や取り組んでいる競技についてお話を伺い、市民の皆さんからマカオの選手へ質問を行うなど、相互交流を深めることができました。

また、交流会の中で、市長とマカオパラリンピック委員会のフェルナンデス菲能地会長により、東京大会における吉川市とマカオとの人的・文化的な交流や、東京大会終了後も続く共生社会実現のための交流について、覚書への署名式を行いました。

概要

開催日 2月6日

参加者

・吉川市側

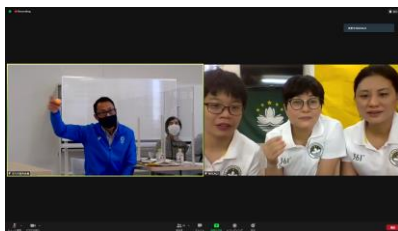
市長、吉川市国際友好協会、吉川市手をつなぐ育成会、吉川市スポーツ推進委員会、美南小学校特別支援学級教員・児童などの21名

・マカオ側

マカオパラリンピック委員会会長、関係者1名
東京大会への出場を予定するパラアスリート3名

・ゲスト

マカオ政府観光局日本 2名



マカオの選手と交流する参加者



参加者全員で記念撮影



市長と菲能地会長により、リモートで署名式が行われました

マカオ特別行政区の登録のきっかけ

市では、国が推進するホストタウン構想を受け、ホストタウン未登録の国や地域の中から、パラリンピックへの参加を予定する国などを調査する中で、マカオと交流のある市民を通じて、マカオ特別行政区との調整をすすめてきました。

令和2年12月2日、内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部より、第25次登録団体の公表が行われ、吉川市が中華人民共和国マカオ特別行政区のパラリンピックにおけるホストタウンに登録されました。

この件に関するお問合せ先

- お問合せ：政策室 企画担当 ☎048・982・9445

記事提供：政策室 広聴広報担当 ☎048・982・5112